

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0283
施設名	由木保育園
施設所在地	八王子市下柚木15-1
法人名	社会福祉法人 花窓堂

1. 活動のテーマ

<テーマ>

感触遊び

「ひんやり?ねっとり?プルプル?どんな触り心地?」

「自分の手で感じてみよう」

<テーマの設定理由>

園庭での砂遊びが好きで、砂の冷たさや感触を楽しむ姿が見られたためこのテーマに設定した。

2. 活動スケジュール

①泥んこ遊び (5.6月)

②スライム作り (8.9月)

③絵の具遊び (11月)

④カブの苗植え・収穫・調理 (10月～12月)

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

①泥んこ遊び→十分な砂場道具・汚れてもいい服・足ふきマット・着替えの洋服

②スライム作り→重曹・コンタクト液・洗濯のり・絵の具・容器・使い捨てスプーン

③絵の具遊び→画用紙・絵の具

④カブの苗植え→土とプランター・カブの苗

収穫→特になし

調理→調味料・ジップロック

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ①砂に水を混ぜてみよう！泥あそびを楽しむ
- ②スライムを手作りしてみよう
- ③絵の具で手形をとってみよう→色の混ざりを楽しむ
- ④カブの苗を植え、育てて収穫・調理しよう

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

どの活動においても意欲的に取り組む姿が見られていた。特に泥んこ遊びでは、砂に水を混ぜると冷たいね！しっとりする！重くなるんだ！と様々な発見があった。子どもたちが感じたことを口にする姿を見逃さず応答することで、意欲が増し、やりたい事を探っていけるようにした。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

様々な感触を経験し、感想を言葉にすることで子ども同士の会話も増えていた。その言葉を拾い、次はどうする？なにをやってみたい？と活動を発展させていくことができた。どの活動においても少人数活動にしたことによって子どもの声を聞き、応答的に関わることでできていた。